

OEAP アクセス ポイントでのスプリット トンネルの設定例

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[ネットワーク図](#)

[パケット フロー プロセス](#)

[設定](#)

[制限事項](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

このドキュメントでは、コントローラ コード リリース 7.5 を搭載したスプリット トンネル アクセス ポイントにより、クライアント (社内 SSID に接続するクライアント) が、社内リソースへの接続とローカル リソースへのアクセスを同時に実行できる状況について説明します。これは、社内 SSID とリモート LAN に接続するクライアントに利用できます。この機能は現在、共通プリンタ ポート (PDL (port:9100)、IPP (port:631)、MFP (port: 9303)、LPR (port:515)、PSUS4 (port:34443)、および汎用プリンタ サーバ (port:35)) を備えたプリンタのスプリット トンネルをサポートしています。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- リリース 7.5 以上が稼働するワイヤレス LAN コントローラ (WLC)
- OEAP-600 シリーズ アクセス ポイント

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。こ

のドキュメント内で使用されているデバイスはすべて、クリアな設定 (デフォルト) から作業を始めています。 ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

ネットワーク図

パケット フロー プロセス

1. AP は、クライアントから社内ネットワークの既知のプリンタに送信されるトラフィックを検査します。
2. クライアントがゲートウェイを使用して設定されている場合、クライアントはすべてのパケットをゲートウェイの宛先 MAC アドレスに送信します。 この場合、クライアントはゲートウェイの宛先 MAC アドレスを使用して社内 SSID に接続されると、この SSID がプリンタ 192.168.1.100 への接続を試行します。
3. AP はプリンタ ポートとの一致を検出し、Address Resolution Protocol (ARP) 要求をローカル ネットワークでプリンタの宛先 IP アドレスに対して送信します。
4. 応答を受信すると、MAC アドレスの宛先が変更されます。 ゲートウェイの MAC アドレスからプリンタの MAC アドレスに変更して、ローカル ネットワークに転送します。
5. AP は、プリンタからクライアントへの応答トラフィックをブリッジします。

設定

設定の例を次に示します。

1. スプリット トンネルをグローバルに有効にするには、[Wireless] > [Access Points] > [Global Configuration] を選択します。 [Disable Split Tunnel (Printers)] チェックボックスがオフになっていることを確認します。
2. 次のスクリーンショットに、オフにする [Disable Split Tunnel (Printers)] チェックボックスの位置を示します。
3. このスクリーンショットに示されているように、デフォルトのオプションは無効です。 デフォルト オプションを有効にするため、`config network oeap-600 split-tunnel enable` コマンドを入力します。
4. 無線 LAN (WLAN) /リモート LAN ごとにスプリット トンネルを有効にします。
5. WLAN/リモート LAN をそれぞれ有効にするには、次の CLI コマンドを入力します。
6. `config wlan split-tunnel 1 enable`
- 7.
8. `config remote-lan split-tunnel <remote-lan id> {enable | disable}`

制限事項

- 現時点では、AP 単位のレベルで OEAP AP のスプリット トンネルを無効にすることはできません。 無効にするには、新しい WLAN プロファイルを作成し、すべての AP が含まれてい

る別個の AP グループにその新しい WLAN プロファイルを追加する必要があります。これにより、スプリットトンネルが無効になります。

- 既知のプリンタポートを使用しているアプリケーションは、AP がプリンタポートとして扱うため、機能しません。
- AP は、その AP 自体のサブネットの外部へは ARP 要求を送信できません。したがって、プリンタが異なるサブネットまたは社内ネットワークにある場合、クエリは失敗します。
- ダイナミックサービス検出はサポートされていません。
- データパスのデバッグはありません。

確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。